

まちづくりセミナー 『100年先を見据えたまちづくりを考える ～二子玉川100年懇話会の事例』

地域住民が主体となって情報交換を行い、まちづくりの課題に取り組んでいる二子玉川の事例を伺います。

- 日時** 2019年2月12日(火)19:00～21:30
- 時間** 【講演会】19:00～20:15【交流会】20:30～21:30
- 場所** 三鷹産業プラザ
- 講師** ・法政大学現代福祉学部 教授 保井美樹さん
・二子玉川エリアマネジメント担当者
- 定員** 100人 **会費** 【講演会】無料 【交流会】1,000円
- 申込み** 住所、所属、氏名、メールアドレスをinfo@mitaka.ne.jpへ

中高生国際Rubyプログラミングコンテスト 2018 in Mitaka 最終審査会 観覧者募集

今年で8回目を迎える当コンテストでは、ゲーム部門とクリエイティブ部門のカテゴリで一次審査を通過した10組の子どもたちがプレゼンテーションを行います。

また、Ruby開発者であるまつもとゆきひろさんによる講評・講演や、ネイロ株式会社 CEO 平井武史さんによる特別講演「現代のゲーム開発レシピ」も行われます。

- 日時** 12月8日(土)12:00～17:00
- 場所** 三鷹産業プラザ7階会場
- 参加費** 無料

昨年度の入賞者の皆さん



クラウドファンディングのご相談は FAAVO東京三鷹へ

クラウドファンディングは、自分のアイデアや実現したいことをインターネット上で紹介し、賛同者から資金を集める仕組みです。

「FAAVO東京三鷹」は、どなたでも安心してクラウドファンディングを始められるようサポートします。

アイデアをカタチにしたい方、クラウドファンディングについて知りたい方は、お気軽にお問合せください。

問合せ FAAVO東京三鷹((株)まちづくり三鷹内)

- ☎ <https://faavo.jp/tokyomitaka>
- ✉ faavo@mitaka.ne.jp



三鷹まちづくりフォトコンテスト特別企画 林義勝トークイベント 「写真のチカラ ～写真家 林忠彦と林義勝の仕事から学ぶ～」

同コンテスト審査委員である写真家 林義勝さんと同氏の父 写真家 林忠彦さんの作品の解説を聞きながら、写真の撮り方を学びます。

- 日時** 12月8日(土) 10:30～12:00
- 場所** 三鷹ネットワーク大学 教室C
- 定員** 20名(先着順) **参加費** 無料
- 申込み** 参加者名をphoto@mitaka.ne.jp 又はTel、Faxで
- 主催** 三鷹まちづくりフォトコンテスト実行委員会



林義勝さん

第24回三鷹まちづくりフォトコンテスト 作品募集 2019年1月7日 申込み締切!

入賞者には表彰状および賞品等が贈呈され、入賞作品は市内数か所で開催作品展で展示します。

- 対象期間** 2018年1月1日～同年12月31日に市内で撮影した作品
- テーマ** 「いいとこ三鷹」
- 部門** 一般部門/U18部門
- 賞** 【各部門】三鷹市長賞(グランプリ)1点、金賞1点、銀賞2点、銅賞3点
【全部門】入賞数点、三鷹フィルムコミッション賞1点
- 応募方法** パソコンやスマートフォンなどで、当社HP <http://www.mitaka.ne.jp/> から専用サイトにアクセスし、応募作品の画像をアップロードして申し込む。
- ヘルプデスク** ☎090-1609-4428(水除く平日 午後1時から午後4時まで)
- 主催** 三鷹市、三鷹まちづくりフォトコンテスト実行委員会



女性のための就労支援講座 参加者募集

再就職を希望する女性のための家庭との両立や職場経験のプランクなどの不安を解消するセミナーを開催します。申込み方法などの詳細は、当社HPへ。

- 定員** 各20名(先着順) **参加費** 無料 **会場** 三鷹産業プラザ7階
- ※保育付き(無料)(1歳以上未就学児まで。各回5名)

セミナータイトル	開催日時
家庭も仕事もスッキリ!笑顔で働くための新捨離セミナー	1/18(金)10:00～12:00
仕事に活かそう!職場のカラーコーディネート	1/21(月)10:00～12:00
就職準備セミナー	1/25(金)10:30～12:00
仕事力アップ!“愛され”ビジネスマナー	1/28(月)10:00～12:00
伝わる!読ませる!ビジネス文書の書き方	2/4(月)10:00～12:00
ライフ・キャリアプランセミナー	2/8(金)9:30～12:00

内容についてのお問合せ

(株)まちづくり三鷹 ☎0422-40-9669
〒181-8525 三鷹市下連雀 3-38-4 三鷹産業プラザ
☎0422-40-9750 ✉ info@mitaka.ne.jp 🌐 <https://www.mitaka.ne.jp/>

(株)まちづくり三鷹は、三鷹市全域のまちづくりを総合的に支援することを目的に設立された第三セクターです。

●制作協力:(有)そーほっと ●この通信は再生紙を使用しています。

三鷹 まちづくり通信

2018年度

3号



©2001スタジオグラフィック

この通信は、地域産業の振興と総合的なまちづくりを推進するために、三鷹市と株式会社まちづくり三鷹が協働で発行しています。三鷹市内のまちづくりに関する事業や催しもの、まちづくり団体の活動などを紹介しています。

12月4日(火) サテライトオフィス「サテラ三鷹」が 三鷹産業プラザ3階にオープンします!



「サテラ三鷹」は、三鷹・武蔵野周辺、多摩エリアのビジネス拠点として、企業・社員の業務効率向上や職住接近・通勤緩和による仕事と子育て・介護等の両立などライフ・ワーク・バランスの実現を応援する会員制サテライトオフィスです。ワークラウンジとプロジェクトルームで構成され、スマートロックによる入退室管理や予約システムにより、安心かつ効率的にご利用いただける環境をご提供します。

また、さまざまなテーマによるビジネスセミナーや経営塾、異業種交流を図るビジネス交流会の実施、常駐コーディネーターによるビジネス相談窓口等も設置します。

オープンに伴い、12月3日(月)に施設見学や体験利用ができる内覧会を行います。詳しくは、サテラ三鷹HPをご覧ください。

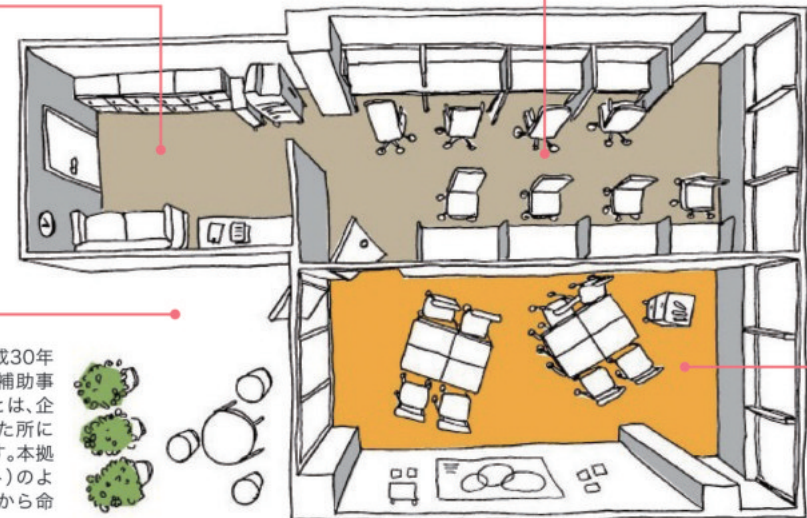
■エントランスルーム

複合機、ダイヤルキーロッカー、シュレッダー、コーヒーサーバー等をご利用いただけます。

■ロビー

グリーンプランターで囲まれたスペースは、ちょっとした待ち合わせや携帯電話・スカイプなどでの会話にご利用いただけます。

※「サテラ三鷹」は、東京都の「平成30年度サテライトオフィス設置等補助事業」です。サテライトオフィスとは、企業または団体の本拠から離れた所に設置されたオフィスのことです。本拠から離れた時に衛星(サテライト)のように存在するオフィスとの意から命名されました。



■プロジェクトルーム 定員:最大10名

まとまった人数でのミーティングができます。壁面のホワイトボードスクリーン、天井付単焦点のプロジェクターの他、会議を活性化させるツールや各種ミーティングに必要なグッズを揃え、生産性を高めます。

- 利用料金** 18,000円/月(税別)
プロジェクトルームを利用する場合は別途250円/15分(税別)

- 利用時間** 年中無休 8:00～22:00(年末年始を除く)

設備・サービス

- Wi-Fi ●電源コンセント ●シュレッダー ●電話ブース
- ホワイトボード ●プロジェクター ●コラボレーションワゴン
- ダイヤルキーロッカー ●コーヒーサーバー ●複合機(有料)
- スマートロック(入退室管理)

- URL** <https://www.satellitemitaka.co/>

- 問合せ** (株)まちづくり三鷹

■ワークラウンジ 定員:8席

プライバシーに配慮した仕切りのある各席には21インチモニターを設置し、落ち着いて仕事ができるスペースとなっています。座り心地のいいオフィスチェアで、体への負担が軽減され仕事はかどります。

個人情報の取扱いについて

(株)まちづくり三鷹は、お客様及び当社に関わる方の全ての個人情報について、当社の個人情報保護方針に基づき、適切に保護、管理、運用、利用してまいります。

●個人情報に関する相談窓口

(株)まちづくり三鷹 三鷹市下連雀 3-38-4 三鷹産業プラザ
☎0422-40-9669 ☎0422-40-9750 ✉ privacy@mitaka.ne.jp

◇無料購読のお申込み・変更・中止のご連絡は随時お受けしています。



三鷹コミュニティシネマ

35mmフィルム ワンコイン上映会レポート

10月8日(月・祝)に、三鷹産業プラザで「懐かしの喜劇映画特集」が開催されました。

『本日休診』では鶴田浩二や佐田啓二、三国連太郎、淡島千景や岸恵子の若かりし頃の姿が、『駅前旅館』では、森繁久彌やフランキー堺などの喜劇スターが登場し、来場者も懐かしさで目を細めていました。

上映終了後は、皆さんが笑顔で会場を後にしていました。



三鷹市買物支援事業

大沢地域宅配サービス説明会レポート

買物支援事業本部事業として、10月15日(月)に大沢コミュニティ・センターで大沢地域宅配サービス説明会「便利な宅配生活はじめませんか」が開催されました。

地域ケアネットワーク・大沢の協力を得て行われたこの説明会は、日常の買物が便利になるための宅配サービス(地域の店舗と生協4社)の紹介に加えて、落語、試食などもあり、盛況な説明会となりました。



第21回SOHOフェスタ in MITAKA

～クリエイティブ編～

11月2日(金)、3日(祝・土)、三鷹産業プラザで開催された今回のフェスタは、クリエイティブな仕事をしている、特に三鷹にゆかりのあるクリエイターを中心に41団体が出展しました。来場者からは見応えのある作品展示に「三鷹のクリエイターの活動を知ることができて良かった」などの感想がありました。

また、テレビアニメーション『魔法の天使 クリィミーミ』をはじめ、次々と話題作をプロデュースし、「時代を映し時代に対応したものづくり」を目指し続けてこられた(株)びえる取締役最高顧問の布川郁司さんを講師に迎え、「ヒットを生み出すプロデュース力」と題したセミナーを開催しました。布川さんからはアニメーター時代のお話や、プロデューサーや経営者としてのお話など、普段聞くことの出来ない貴重な経験談を伺いました。

セミナー後の質疑応答では、経営に対する具体的な質問にも、布川さんは笑いを交えながら気さくに対応され、会場が盛り上がりました。



連雀通りまちづくり協議会

まちづくり情報コーナー開催がされました

10月20日(土)に連雀通りまちづくり協議会主催まちづくり情報コーナーが「ようん家」前の道路事業予定地において開催されました。

当日は天気にも恵まれ、協議会の活動内容の展示や、連雀通りの街路樹や歩道について、アンケートが実施されました。また、新しい歩道の幅3.5mを体験するコーナーも用意され、完成後の安全に歩ける歩道を体験することができました。



三鷹台駅前周辺地区に係る都市計画変更(原案)の説明会が行われました

三鷹市では三鷹台駅前周辺地区のまちづくり推進地区整備方針を7月に策定しました。この整備方針に基づき、三鷹市の東部地区の玄関口にふさわしい都市空間を創出するため、三鷹台駅前通りや駅前広場の位置付けを新たに定める地区計画として決定することを目的として都市計画変更原案を策定しました。

10月27日(土)には、本原案の説明会を井の頭コミュニティ・センターで開催しました。

新川宿まちづくり協議会

◆第12回新川宿ふれあい通り朝市が開催されました

新川宿まちづくり協議会が主催する新川宿ふれあい通り朝市が11月4日(日)に開催されました。当日は曇り空でしたが、朝から模擬店や地元産野菜を求め、多く来場がありました。バナナのたたき売りや一歳の児童によるプラスバンドやダンスなどで、会場の新川宿ふれあい通りは大いに盛り上がりました。



◆通学路タウンウォッチングを実施しました

11月13日(火)に通学路タウンウォッチングが実施されました。日本無線(株)三鷹製作所跡地開発事業に伴い、建設されるマンションに入居する子どもたちが一小・六中へ通学することが予定されているためのタウンウォッチングです。協議会役員や関係者が通学路を歩き、交通安全などを確認しました。



三鷹の光軍く人

三鷹市内の各地域では、市民主体のまちづくりが進められています。このコーナーでは、三鷹市民のレポーターが、それぞれの分野で活躍する人を取材し、レポートします！



歴史ある農家が伝える、宅地と農地が隣り合う三鷹の豊かさ

株式会社三鷹ファーム 代表取締役社長 岡田源治さん

三鷹市では駅周辺を離れると、そこかしこで農地を見かけます。宅地と農地が近接する風景は、三鷹らしさの象徴でもあります。都市農業ならではの工夫を重ねながら、農地を守り、農業で三鷹を盛り上げようと活動する岡田源治さんにお話をうかがいました。



ブロッコリー畑での岡田源治さん

* 歴史ある農家に押し寄せる都市化の波

北野地域は三鷹市内でも農地が多く、あちこちで野菜をロッカー式販売機で売る直売所を見かけます。岡田源治さんは北野で農業を営む一人です。岡田さんで14代目、古くから続く農家です。

「私が子どもの頃この辺りは見渡す限り畑でした。今は周りに家が建ち、畑は箱庭のようです」と岡田さん。宅地化に加えて、北野では東京外かく環状道路の建設のため、まちが大きく変わっています。

農業経営のあり方にも変化が生じています。以前市場への出荷が主だった時代には、同一の作物を大量に育てていましたが、現在は少量多品目。晩秋の畑には里芋、アスパラガス、カブ、大根、ブロッコリー、キャベツなどが植えられていました。「時期をずらして、順番にいろいろな野菜を収穫できるようにしています」。直売所の朝採り野菜が人気で、地元の人たちにはなくてはならない存在です。

2011年3月11日、東日本大震災で最初の震度5の揺れがあったとき、岡田さんはビニールハウスの中にいました。「ハウスから出ると、あわてて道に逃げ出してきた近所の人たちがいたので、畑に避難してもらいました。」農地は災害時に役に立つと改めて考えるようになったと言います。

* 都市農業を守っていくために

2010年、岡田さんをはじめとする6人の農家が株式会社三鷹ファームを設立しました。後継者の不足などで営農が困難になった農地を農地のまま保全すること、都市農業を発展させていくことを設立の目的としました。収穫体験や野菜づくり講座、野菜宅配などを通じて、市民に都市農業を

知ってもらう機会を設けています。

2年前からは小麦の栽培にも関わっています。昨年11月に種を撒き、今年6月に収穫した小麦を原料に、市内の老舗パン店トーホーベーカリーと共同で食パンを開発しました。期間限定で販売された三鷹産小麦100%の食パンは好評を博しました。

(株)三鷹ファームと三鷹市、三鷹市農業委員会、東京むさし農業協同組合三鷹支店、(株)まちづくり三鷹は、三鷹市都市農業市民交流協議会を立ち上げ、都市農業への理解を深める活動を行っています。その取り組みの一環として、東三鷹学園三鷹市立第一小学校の生徒は、毎年、昔ながらの農作業を体験します。5年生は冬の間に麦踏み、収穫後に6年生は「くり棒」を使った脱穀を体験し、給食で全校生徒がすいとんを味わいます。

岡田さんは「農業を残す仕組みづくりを働きかけていきたい。市民のみなさんと共に三鷹の農業を守っていきたいです。身近で採れた新鮮な野菜が一番おいしいはずですよ」と語ります。



昔ながらの麦打ち体験



三鷹産小麦100%の食パン

大根とじゃがいもの収穫体験とあつあつイモ煮会が開催されました！

11月17日(土)、秋晴れの中、北野の三鷹ファーム管理農園に市民約200人が集まり、三鷹産の野菜がふんだんに入ったイモ煮に舌鼓を打った後、大根とじゃがいもの収穫を体験しました。大きな大根を引き抜き、得意げな顔や満足げな顔など、あちこちで笑顔が見られました。

